

# スマート・Fウォール/ユニット角門柱

## 取扱説明書

現場貼付タイプ・現場塗装タイプ

●このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
正しく安全にご使用していただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

### 施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の  禁止、 注意 の表示箇所は特に重要です。必ずお守りください。  
守れない場合、思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。

### 禁止

- 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。変形や仕上げ材の剥離、火災の原因となる場合がありますので、火気や暖房器具を近づけたり、車の排気ガス等の高熱が直接あたらないようにしてください。  
また、シンナーなどの有機溶剤の使用は避けてください。
- 事故などの原因になりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ケガや事故の原因になりますので、製品を破損・変形したまま使用しないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、重い物をのせたり、寄りかかったり、ぶら下がったり、強い衝撃などを与えないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、開口部を設けた場合は、開口部に重いものをのせたり、足をかけたり、ぶら下がったりなどしないでください。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。思わぬ事故につながり、ケガをするおそれがあります。
- 本製品の強度基準を超えた条件下でのご使用は避けてください。
- 洗浄機での洗浄をおこなう場合は、必ず噴射角を「拡散」にし、目立たない所で試し洗浄をし、問題がないことを確認してからおこなってください。絶対に「直噴」での洗浄はしないでください。パネルが破損する可能性があります。
- 真夏の炎天下での洗浄は避けてください。急激な温度変化によりパネルが収縮する可能性があります。
- 破損や故障の原因になりますので、本体に落雪や重機による除雪などの強い衝撃を与えないでください。

### ご使用上のご注意

- 現場塗装タイプの場合、年に2~3回の水洗いをしてください。  
その場合、金属製ブラシや金ベラ等は使用しないでください。表面を傷める可能性があります。  
柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とした後で、水洗いしてください。
- 現場塗装タイプの場合、降雨等で塗面が水分を含むと色ムラが生じることがありますが、乾燥すれば元に戻ります。

# スマート・Fウォール/ユニット角門柱

## 取付説明書

### 現場貼付タイプ・現場塗装タイプ

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
△ 警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
△ 注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

#### 運搬及び保管

- △ 注意
- 本製品は、パネル等に硬質ポリスチレンフォーム材を使用しています。  
硬質ポリスチレンフォーム材は、生地の部分が長時間直接太陽光のもとに放置されると紫外線により劣化するおそれがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
  - 硬質ポリスチレンフォーム材は80°C以上になると変形します。  
高温の物や火気が無い場所に保管してください。
  - 搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意してください。傷、へこみ、破損の原因になります。
  - 当社汎用プライマーは、水性です。凍結させないでください。  
凍結させると本来の性能を発揮できなくなります。

#### 施工上のご注意

- △ 警告
- 本製品の施工には専用の柱を使用してください。使用しない場合、反り・割れが生じる場合があります。
  - 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。  
思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。
  - 本製品の強度基準を超えた条件下でのご使用は避けてください。

- △ 注意
- 正しく施工・組付していただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
  - 本製品の施工につきましては、必ず取付説明書にしたがってください。
  - できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が反ったり伸縮する恐れがあります。
  - 落としたり、物を当てたりしないでください。傷・へこみ・破損の原因となります。
  - 車の排気ガスが直接当たる場所や、エアコンの室外機近くなど高温になる場所への設置はしないでください。変形や破損の原因になります。
  - 本体を持つ際、汚れた手で触ると汚れが付いて落ちにくくなります。ご注意ください。
  - 本体に汚れ等が付いた場合は、中性洗剤を用いて柔らかいブラシ等で洗い流してください。
  - 塗装・接着の際、表面に付着しているごみ・土砂・油分等は除去してください。
  - 特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
  - 基礎部のコンクリートには、急結材や海砂を使用しないでください。柱等の腐食の原因になります。
  - 硬質ポリスチレンフォームの生地の部分が長時間太陽光のもとに放置されると、紫外線により劣化する恐れがありますので、必ず仕上げ材の施工をしてください。
  - ヒートガン等の熱を発する工具を用いないでください。PSパネルの変形や仕上げ材の剥離等の原因になります。

#### 【仕上仕様について】

- ユニット角門柱は、生地仕様のみになります。
- タイル等の貼り材や現場塗装タイプの仕上げ塗材については、各メーカーの使用上の注意事項も確認してご使用ください。

# スマート・Fウォール/ユニット角門柱

## 取付説明書

### 現場貼付タイプ・現場塗装タイプ

#### 施工上のご注意

##### △ 注意 【接着剤について】

- 接着剤は当社規格品または、当社指定品を使用してください。シンナー等を含む溶剤型の接着剤を使用すると硬質ポリスチレンフォーム材が溶解するおそれがあります。
- 硬質ポリスチレンフォーム材同士を接着する場合  
[当社規格品]オプション接着剤セット、貼り物用接着剤セット※  
[当社指定品](変成シリコーン系接着剤) コニシ社 MPX-1/セメダイン社 タイルエースPro
- 硬質ポリスチレンフォーム材に石材等を接着する場合  
[当社規格品]貼り物用接着剤セット※  
[当社指定品]セメダイン社 タイルエースPro/ニッタイ工業社 EY-21
- ※上記接着剤は弊社にて接着力を確認しております。
- ※貼り物用接着剤セットは、タイルの貼付けやアクセントパネルの広範囲貼付けにご使用ください。
- ※ガンタイプ・チューブタイプの接着剤は、小さい部材の貼付けにご使用ください。
- 石材、タイル等の固定は接着剤による貼付けのみになります。金物との併用やモルタルによる貼付けはできません。
- 石材、タイル等を接着する場合は、接着剤は全面塗布してください。点付け塗布は避けてください。
- 接着剤は必ず生地の状態に貼付けてください。汎用プライマーや仕上げ塗材の上に貼付けしないでください。
- 接着方法は接着剤の施工説明書等に記載された内容に準じておこなってください。

##### 【コーティング材について】

- コーティング材は、必ず当社規格品または変成シリコーン系ノンブリードタイプを使用してください。  
[当社規格品]コーティング材セット(ライトグレー)

##### 【汎用プライマーについて】

- 現場で塗装仕上をする場合は、必ず当社規格品の汎用プライマーを施工してください。
- 汎用プライマーは気温5°C以下及び、下地0°C以下の施工を避けてください。
- 汎用プライマーは、塗布した状態で長時間直接太陽光のもとに放置されると紫外線により劣化するおそれがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
- 汎用プライマー無で仕上げ塗材を施工したり、当社規格の汎用プライマー以外を使用しないでください。剥離の原因になります。
- 汎用プライマーには特殊骨材が入っています。塗布前によく攪拌し、ローラーで塗布する場合にもその都度よく攪拌してください。攪拌不足で塗布すると塗ムラの原因になります。  
擦り付けるように下地になじませ、塗材を置いてくる要領であ厚みを持たせて均一に塗布してください。薄すぎたりダマにならないようにしてください。

##### 【下地調整材について】

- 下地調整材は当社指定品または、軽量セメントモルタル(JIS A 6918)を用いてください。  
[当社指定品]四国化成建材社 SKカチオンプラス弾性タイプ
- 既調合軽量セメントモルタルを用いる場合は、塗厚5~10mm程度で仕上げ、仕上げ塗材施工前に各塗材メーカー指定のシーラー処理をしてください。
- 下地調整材は当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから施工してください。
- 下地調整材は平滑に仕上げてください。
- 施工方法は下地調整材の施工要領書等に記載された内容に準じて行ってください。

##### 【仕上げ塗材について】

- 仕上げ塗材は下記の水性塗材を使用してください。シンナー等を含む溶剤型の仕上げ塗材を使用すると硬質ポリスチレンフォーム材が溶解するおそれがあります。  
[水性塗材]四国化成建材社 パレットHG・パレットクリームHG/  
アイカ工業社 ジヨリパットアルファ(JP-100)

※上記の当社指定品「下地調整材」「仕上げ塗材」は当社で性能を確認しています。  
必ず上記をお使いください。

※仕上げ塗材の塗膜の収縮や膜厚不足(2mm以下)によって下地の影響(下地の凸凹がそのまま反映されたり、メッシュの網目が見える等)を受けることがありますので、仕上げ材の膜厚については2mm以上を確保してください。当社では膜厚の確保できる仕上げパターンを設定しております。

※下地調整材についてもしっかり膜厚(カチオン2mm、軽量モルタル5~10mm)を確保し、平滑に仕上げるようにしてください。

●仕上げ塗材が濃色の場合は季節を問わず、直射日光が当たると塗材表面が高温になり、蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避けるなど、高温にならないための養生を施して塗装を行ってください。

●部材間に隙間や段差が生じる場合があります。現場塗装仕上の場合、下地調整材またはコーティング材にて隙間や段差をなくしてから仕上塗装を行ってください。塗装割れや段差の原因になります。

##### 【免責事項】

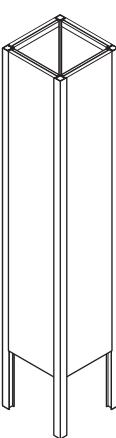
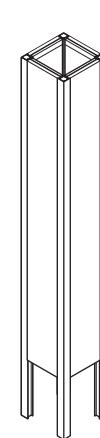
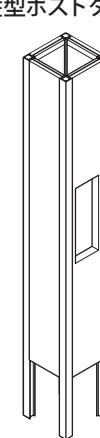
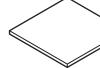
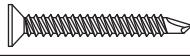
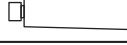
- 下記の場合の不具合については、免責とさせていただきます。
- 当社指定品以外のご使用・当社指定仕上げパターン以外の施工がなされた場合
- 当社ならび材料メーカーの指定する標準施工法から逸脱した施工がなされた場合
- その他、施工上の瑕疵、塗材の自然劣化、天災、事故等、当社の責に帰さない事由による場合
- 塗材・下地調整材を塗装して得られる塗膜は、塗装業者様の製品となるため、塗装業者様が仕上がりに責任を負います。

## INDEX

	現場貼付タイプ	現場塗装タイプ
INDEX	1	
梱包明細表	1・2	
基本寸法図	3	
1.組付前の確認	4	
1.W03縦型ポストタイプの開口部寸法とポスト取付前の寸法確認	4	
2.基礎工事	4	
1.柱の建込み	4	
3.本体の施工	5・6	
1.W03縦型ポストの組付	5	
2.PS笠木の組付	6	
3.天面塞ぎ材の組付	6	
4.アクセントパネルの貼付け	7	
1.アクセントパネルの加工(参考例)	7	
2.カット後のアクセントパネルの貼付け方法	7	
5.現場塗装仕上げ手順	—	8~10
1.目地テープの貼付け	—	8
2.汎用プライマーの塗布	—	8
3.下地調整材・グラスファイバーネットの施工	—	9
4.仕上げ塗材の施工	—	10
6.現場貼り仕上げ手順(現場貼付1タイプ)	11	—
1.タイル・石材・外壁用シート材等の貼付け方法	11	—

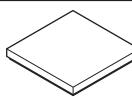
## 梱包明細表

### ユニット角門柱本体セット (W04・W03)

部材名	略図	員数
ユニット角門柱本体(生地)	  	1
天面塞ぎ材(生地)		1
φ4×45サラドリルネジ		4
φ4×13トラスドリルネジ		4*
接着剤		10ml
取扱・取付説明書		1

### PS笠木 (W04・W03)

※縦型ポストタイプのみ

部材名	略図	員数
PS笠木(生地)		1

## 梱包明細表〈現場貼付タイプ〉

### 接着剤セット

部材名	略図	員数
接着剤		120ml

### 貼り物用接着剤セット

部材名	略図	員数
貼り物用接着剤		2kg

## 梱包明細表〈現場塗装タイプ〉

### 汎用プライマー(100ml)・刷毛セット

部材名	略図	員数
汎用プライマー(100ml)		100ml
刷毛		1

### 汎用プライマーセット(1.5Kg)

部材名	略図	員数
汎用プライマー(1.5Kg)		1.5Kg

### 汎用プライマーセット(15Kg)

部材名	略図	員数
汎用プライマー(15Kg)		15Kg

### 汎用プライマー用ローラー刷毛(1本入り)

部材名	略図	員数
汎用プライマー用ローラー刷毛(6インチ)		1

### SKカチオンプラスター弾性タイプ

※ハンドルは付属しません

部材名	略図	員数
SKカチオンプラスター弾性タイプ(20Kg)		20Kg

### 目地テープセット

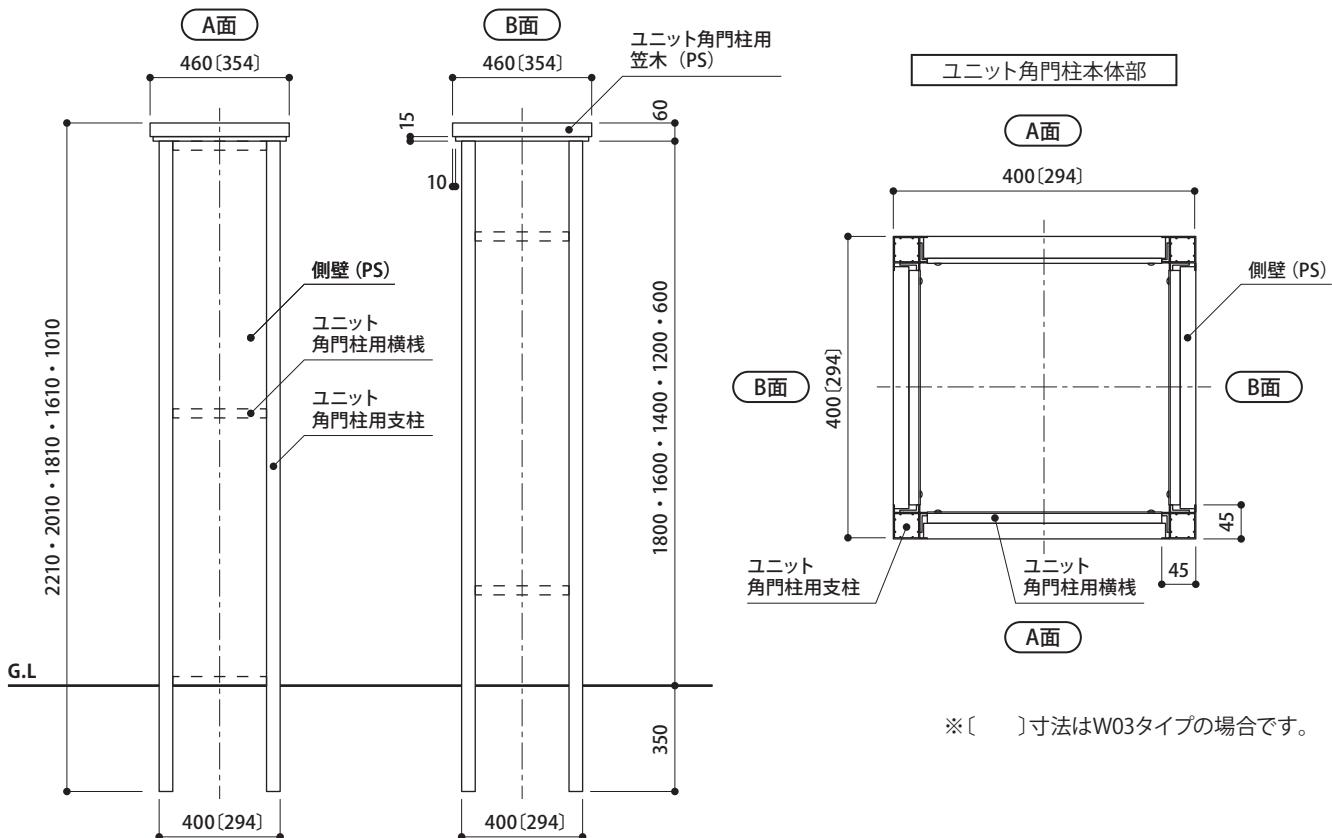
部材名	略図	員数
目地テープ(巾100)		100mm×50m

### グラスファイバーネット

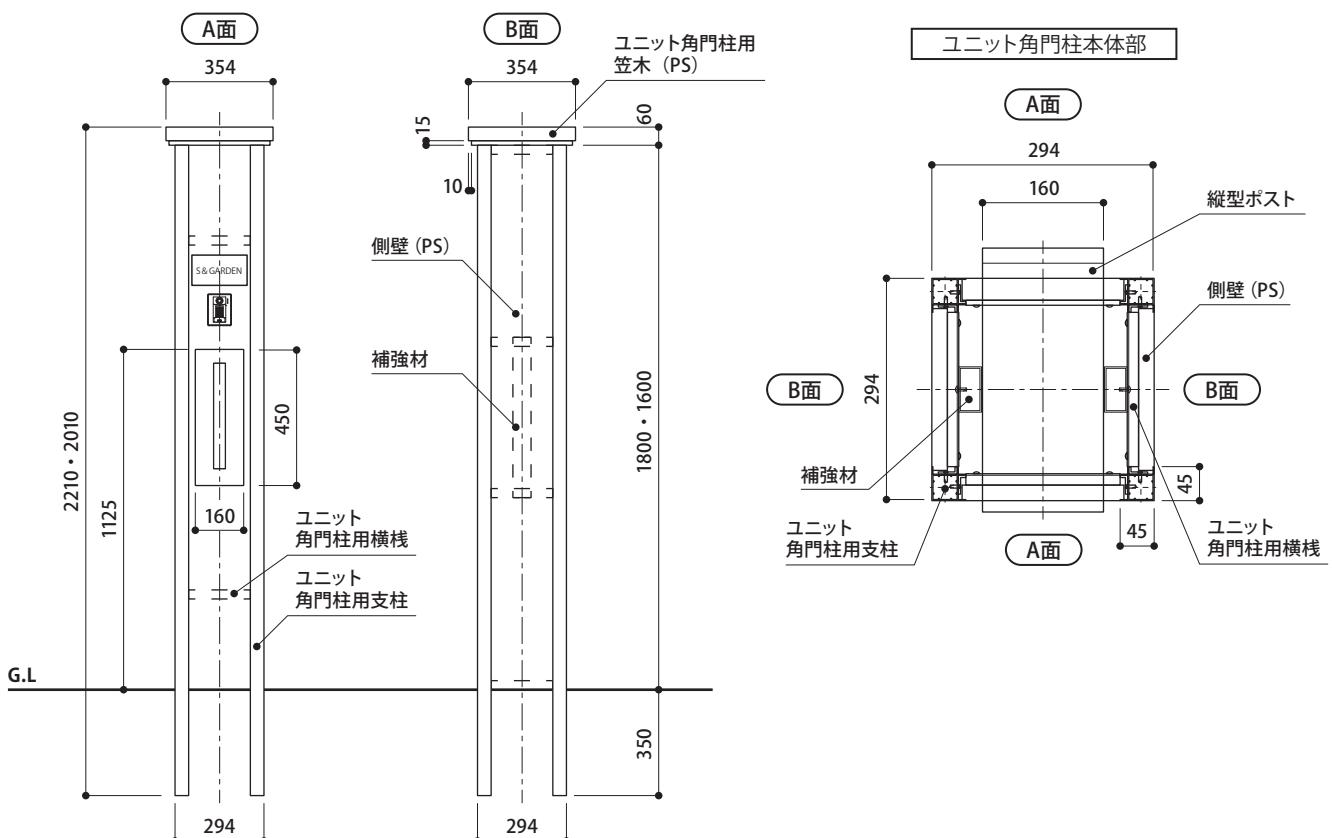
部材名	略図	員数
グラスファイバーネット(1000mm×50m)		1
グラスファイバーネット(1000mm×10m)		1

## 基本寸法図〈現場貼付タイプ・現場塗装タイプ〉

### W04・W03タイプ (H06・H12~H18)



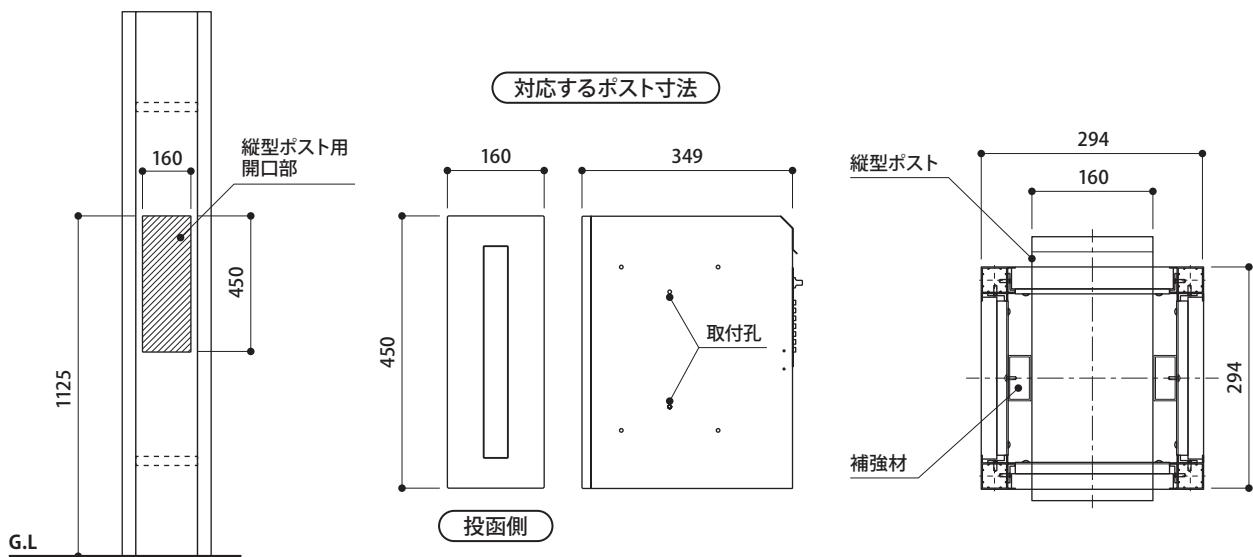
### W03縦型ポストタイプ (H16・H18)



## 1.組付前の確認〈現場貼付タイプ・現場塗装タイプ〉

### 1.W03縦型ポストタイプの開口部寸法とポスト取付前の寸法確認

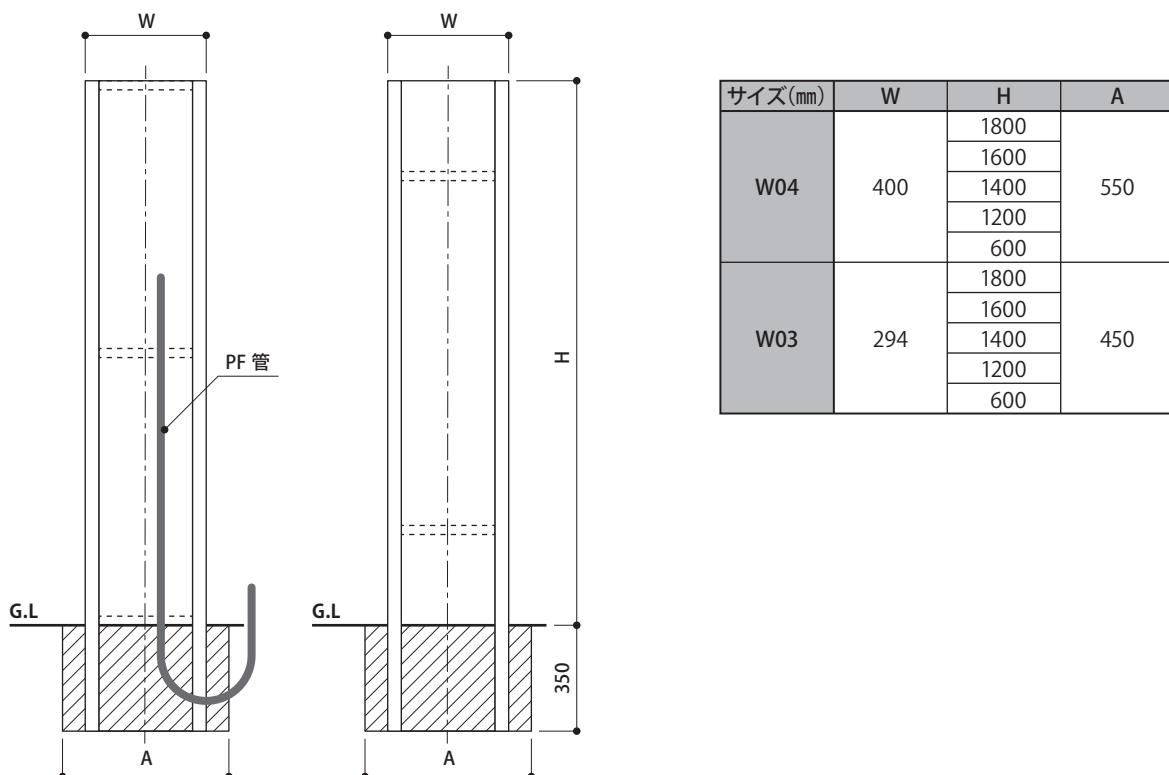
※開口寸法は160×450mmです。パネルの開口部に取付ポストの口金部が挿入できるか、  
ポストの口金寸法を確認してください。ポストが補強材に固定できるか取付孔の位置を確認してください。



## 2.基礎工事〈現場貼付タイプ・現場塗装タイプ〉

### 1.柱の建込み

- ユニット角門柱本体の水平と垂直を出し、ユニット角門柱本体が動かないように固定してください。
- 基礎部は表記寸法の大きさのコンクリートで固定してください。
- 基礎が固まるまでは、ユニット角門柱本体を養生してください。



#### △ 注意

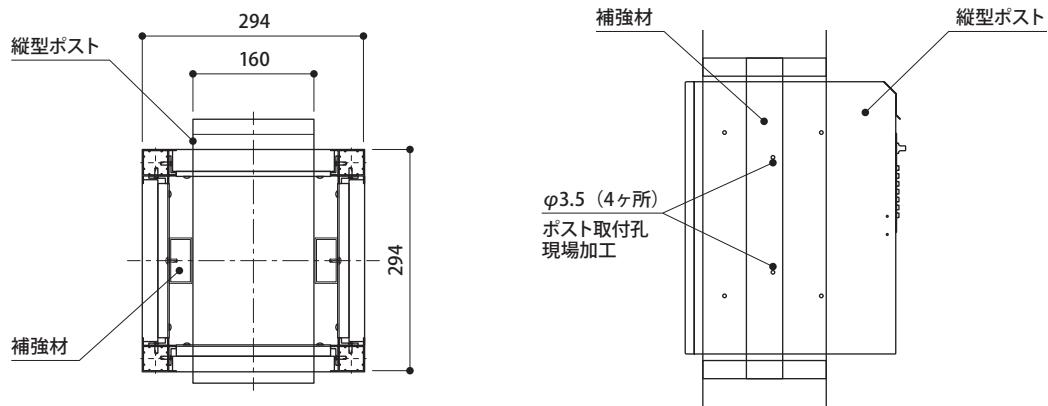
※電気配線が必要な場合は、コンクリートの打設の前に市販のPF管を必要数設置してください。

- コンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系やアルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤・凝固促進剤・急結剤）などは使用しないでください。  
アルミなどの金属が腐食する原因となります。非塩素系または非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 指定基礎寸法は必ず守って施工してください。

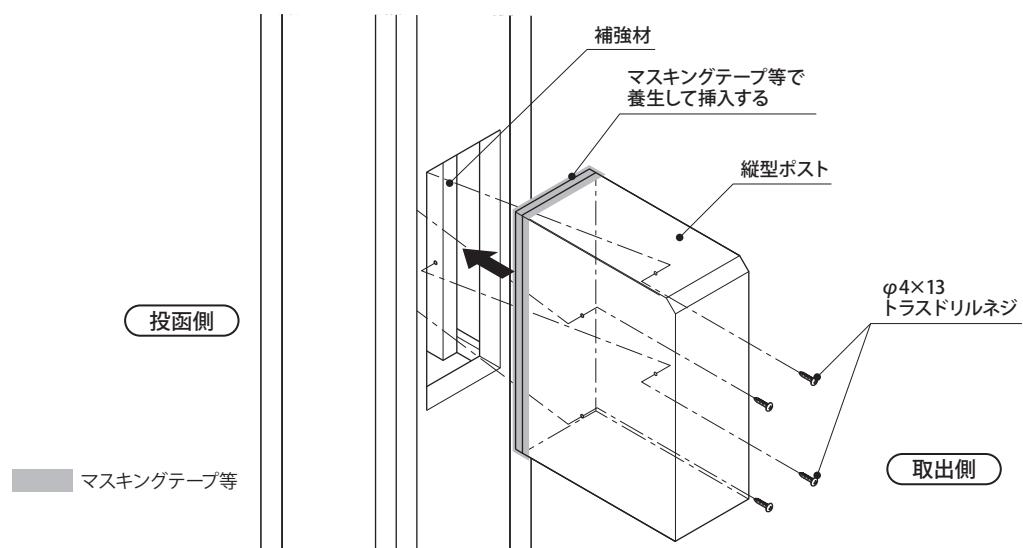
### 3.本体の施工〈現場貼付タイプ・現場塗装タイプ〉

#### 1.W03縦型ポストの組付

①下図のように縦型ポストの側面の取付孔に合わせ、補強材に $\varphi 3.5$ の孔を両面合計4ヶ所あけてください。

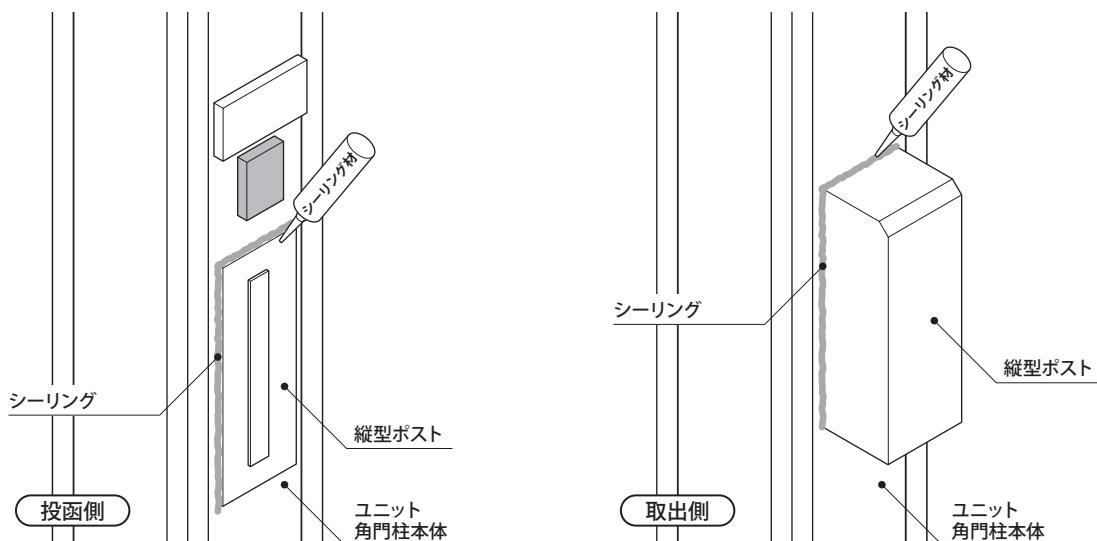


②下図のよう開口部に縦型ポストを挿入し、 $\varphi 4 \times 13$ トラスドリルネジでポストを取り付けてください。



③取り付けたポストとユニット角門柱本体の隙間は、シーリング材で塞いでください。

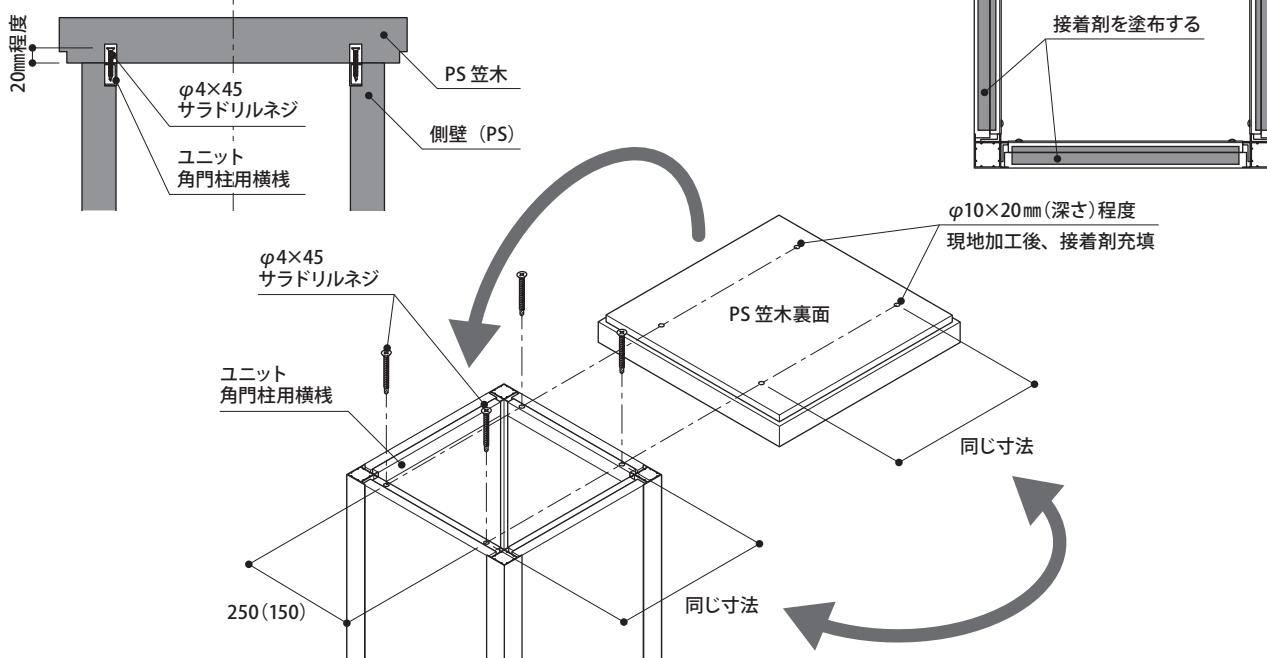
シーリング材には、変性シリコーン系コーティング材(ノンブリードタイプ)をご使用ください。  
マスキングテープ等を使用すると仕上りもきれいになります。



### 3.本体の施工〈現場貼付タイプ・現場塗装タイプ〉

#### 2.PS笠木の組付

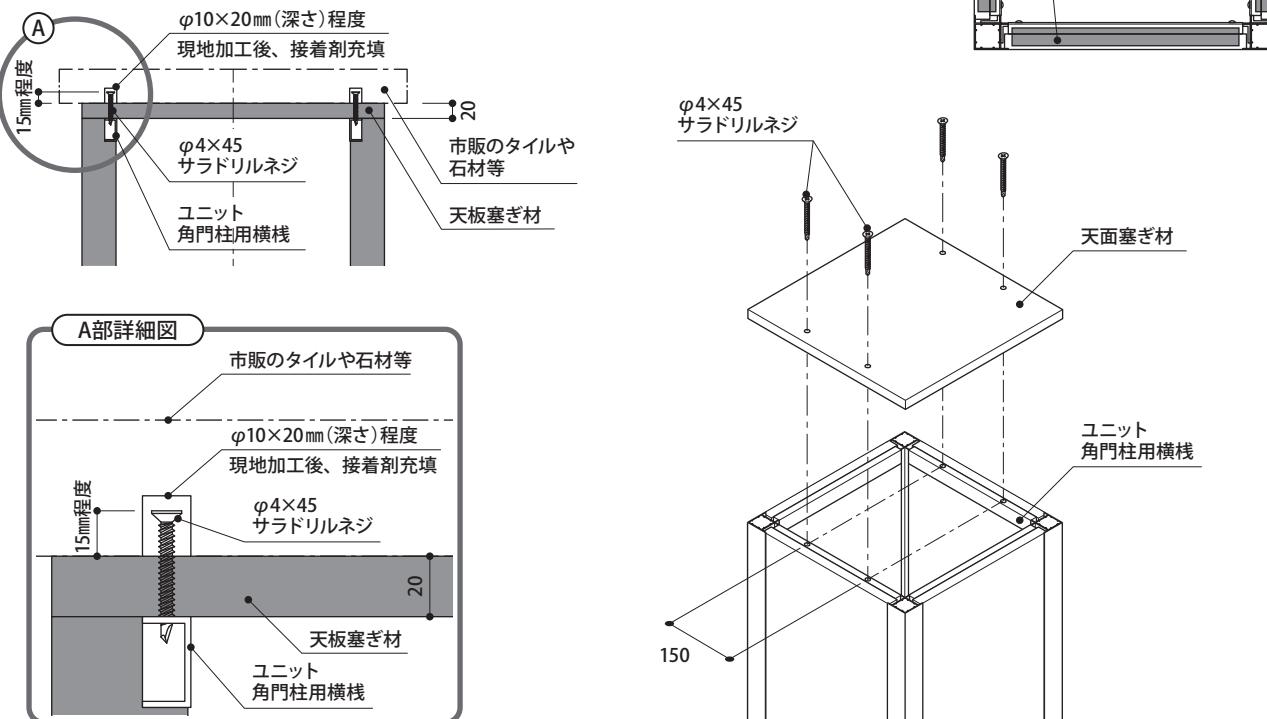
- ①ユニット角門柱の上面のユニット角門柱用横桿に、 $\varphi 4 \times 45$ サラドリルネジを20mm程度残して取り付けてください。
- ②PS笠木の裏面のネジ孔と同じ位置に、 $\varphi 10$ 深さ20mm程度の孔をあけてください。
- ③ユニット角門柱の上面に接着剤を塗布し、孔に充填してPS笠木を貼り付けてください。



#### 3.天面塞ぎ材の組付

- 市販のタイルや石材笠木を取り付けの場合、天面塞ぎ材を取り付けてください。

- ①ユニット角門柱の上面に接着剤を塗布し、天面塞ぎ材を貼り付けてください。
- ②下図のように15mm程度残して $\varphi 4 \times 45$ サラドリルネジを取り付けてください。
- ③タイルや石材笠木がネジと接触する部分に $\varphi 10 \times 20mm$ 深さの孔をあけ、天面塞ぎ材の全面に接着剤を塗り、貼り付けてください。



## 4.アクセントパネルの貼付け〈現場貼付タイプ・現場塗装タイプ〉

### 1.アクセントパネルの加工(参考例)

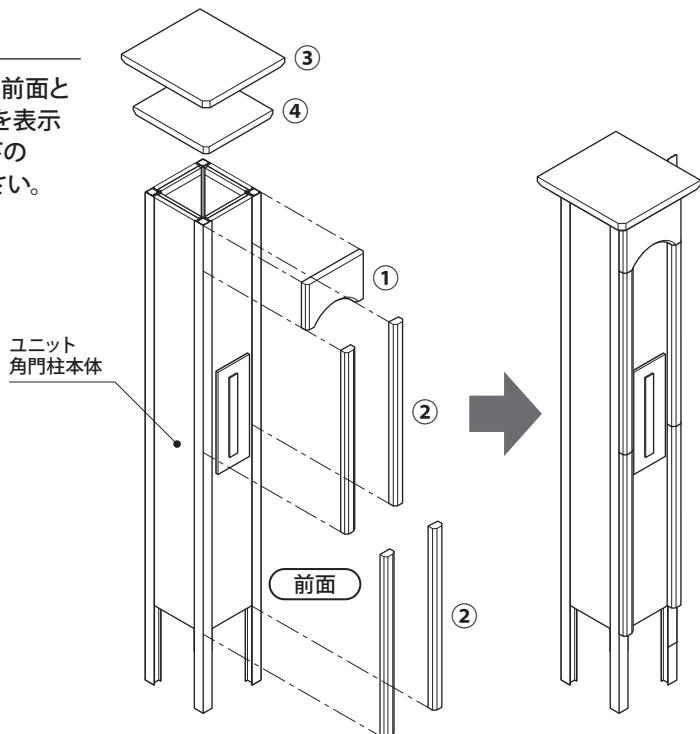
- 右図はユニット角門柱W03×H18・口金ポスト(縦型)の、前面と上面にアクセントパネル+30をカットして貼り付けた例を表示しています。アクセントパネルのカット部材①～④は、下の「アクセントパネルのカット要領図」を参考にしてください。

#### ご注意

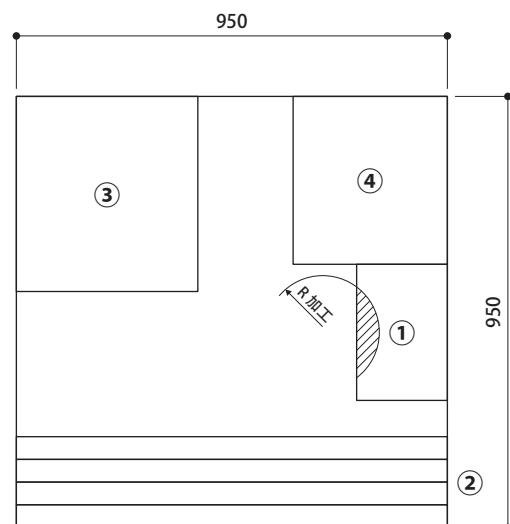
アクセントパネルの貼付け内容は参考例です。ユニット角門柱のサイズやアクセントパネルの貼付けレイアウトにより、アクセントパネルの必要数やカット内容が異なります。ご注意ください。

#### ご注意

現場塗装仕上をする場合は、目地テープ・汎用プライマーの塗布前にアクセントパネルを貼り付けてください。

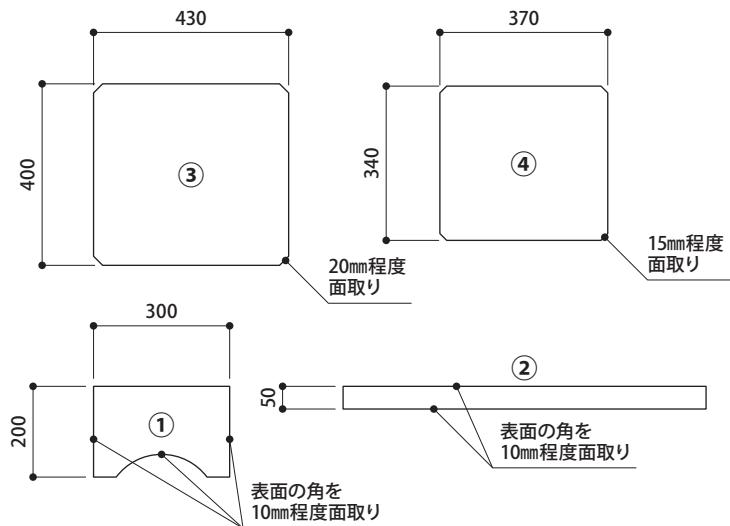


アクセントパネルのカット要領図



※①～④のカット寸法は参考としてください。

カット寸法は、ユニット角門柱のサイズやアクセントパネルの貼付けレイアウトに合わせ、寸法を調整してください。



### 2.カット後のアクセントパネルの貼付け方法

- アクセントパネル同梱の取付説明書を併せてご確認ください。
- ①と②は、接着剤でユニット角門柱の本体前面に貼り付けてください。  
※同梱の接着剤では足らなくなります。別途接着剤を購入してください。  
※接着剤が固まるまでにずれるようなら、アクセントパネルに同梱のネジで仮止めしてください。
- ③と④は接着剤で貼り合せて、ユニット角門柱の上面に取り付けてください。  
本取付説明書P.6の「3-2.PS笠木の組付」を参照してください。
- 現場塗装タイプの場合、アクセントパネルをカットした各部材を貼り付け後、本体と各部材の接合部には目地テープを貼り、汎用プライマーを塗布してください。  
本取付説明書P.8の「5-1.目地テープの貼付け」～P.10「5-4.仕上げ塗材の施工」を参照してください。

## 5.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ〉

### 1.目地テープの貼付け

- ①ユニット角門柱用支柱と側壁の継目(接合部)に目地テープを貼り付けてください。  
目地テープの貼り付け後は、速やかに汎用プライマーを塗布してください。  
現場貼りタイプの場合は必要ありません。  
※アクセントパネルを貼り付ける場合、本体の接合部と一緒にアクセントパネルの接合部にも目地テープを貼り付けてください。  
アクセントパネル同梱の取付説明書を併せてご確認ください。

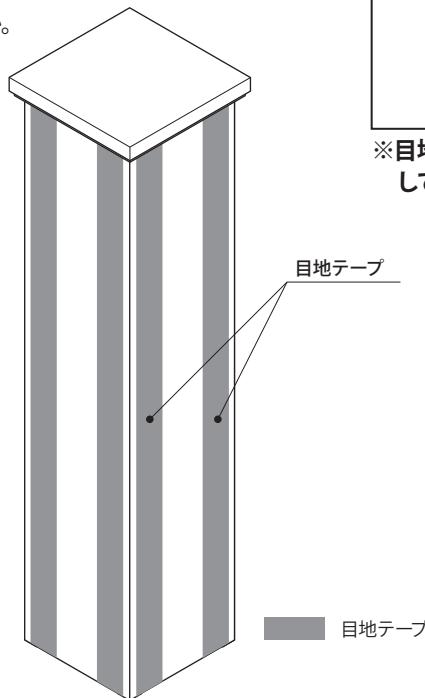
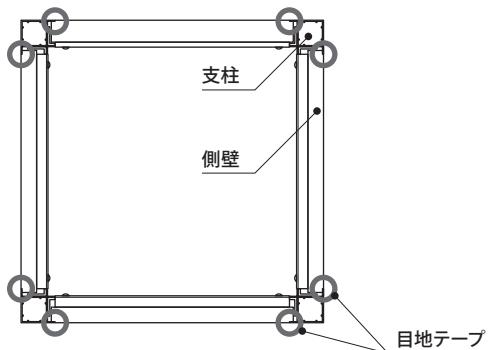
部材名	梱包名称
目地テープ(巾100)	目地テープセット



※目地テープは別途購入してください。

#### 参 照

- 照明・インターホンは、塗装後に取り付けてください。
- 電気配線は、塗装前に行ってください。

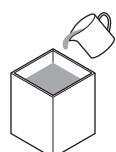


### 2.汎用プライマーの塗布

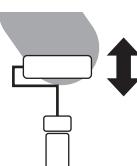
- 塗装仕上をする部分に、当社規格の汎用プライマーを塗布してください。
- ※汎用プライマー無で仕上塗装したり、当社以外のプライマーを使用する  
と剥離の原因になります。
- ※汎用プライマーは成分の骨材が沈殿しますので、よく攪拌してください。
- 目地テープが浮かないように注意してください。
- 十分に乾燥してから次の工程に移ってください。

部材名	梱包名称
汎用プライマー(100ml)	汎用プライマー(100ml)・刷毛セット
刷毛	
汎用プライマー(1.5Kg)	汎用プライマーセット(1.5Kg)
汎用プライマー(15Kg)	汎用プライマーセット(15Kg)
汎用プライマー用ローラー刷毛(6インチ)	汎用プライマー用ローラー刷毛(1本入り)

汎用プライマーは骨材が大きく粘度があります。温度により塗装しづらい場合もあります。  
清水もしくは水道水で0~3%に希釈し、十分に攪拌してご使用ください。  
1.5kgの場合は清水0~45cc  
15kgの場合は清水0~0.4ℓ



汎用プライマーは擦り付ける  
ように下地になじませ、塗材  
を置いてくる要領で厚みを  
持たせて、塗布してください。



- 付属の汎用プライマー100mlで約0.2~0.3m<sup>2</sup>塗布できます。
- 汎用プライマー1.5kgで約2~3m<sup>2</sup>塗布できます。
- 汎用プライマー15kgで約20~30m<sup>2</sup>塗布できます。  
塗装する面積に応じて汎用プライマーセット(100ml・1.5kg・15kg)から選択してください。
- 1.5kg・15kgの汎用プライマーセットには刷毛は付属されていません。別途手配してください。

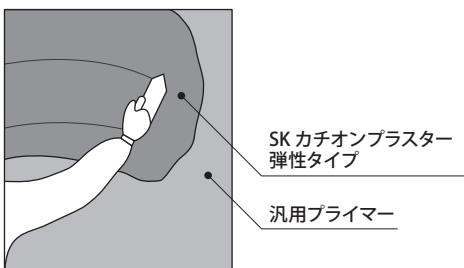
## 16.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ〉

### 3.下地調整材・グラスファイバーネットの施工

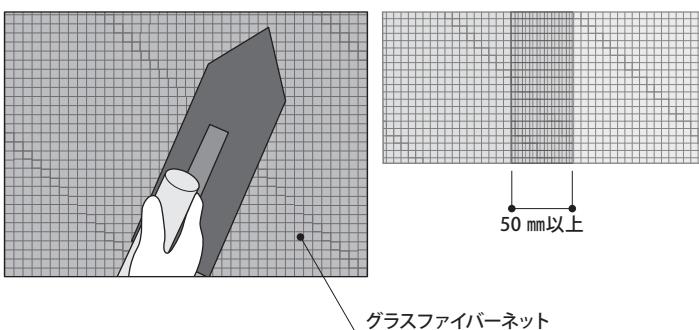
- 当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから塗装仕上をする全面に下地調整材・グラスファイバーネットを施工してください。
- 下地調整材は当社指定品または、軽量セメントモルタル（JIS A 6918）を用いてください。

#### ■基本の施工（当社指定品SKカチオンプラスター弾性タイプの場合）

- 当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから、SKカチオンプラスター弾性タイプを薄くコテ塗りしてください。



- 直後にグラスファイバーネットを壁面に軽く圧着してください。ネットの重ね代は50mm以上とて下さい。



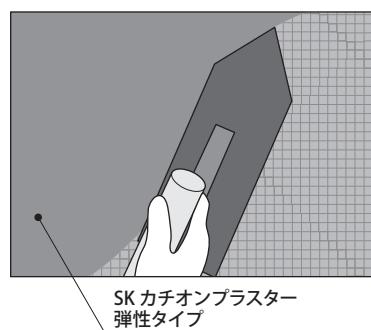
部材名	梱包名称
SKカチオンプラスター 弾性タイプ(20Kg)	SKカチオンプラスター 弾性タイプ
グラスファイバーネット (1000mm×50m)	グラスファイバーネット
グラスファイバーネット (1000mm×10m)	グラスファイバーネット

#### 下地調整材 [当社指定品]

四国化成建材社  
SKカチオンプラスター弾性タイプ  
●養生期間: 1~2日程度  
●標準塗厚: 2mm※  
●使用量: 10m<sup>2</sup>/袋※

※グラスファイバーネット伏せこみ  
時の目安塗厚・使用量です。

- SKカチオンプラスター弾性タイプを上から塗りこみ、合計塗厚1~2mmで仕上げてください。



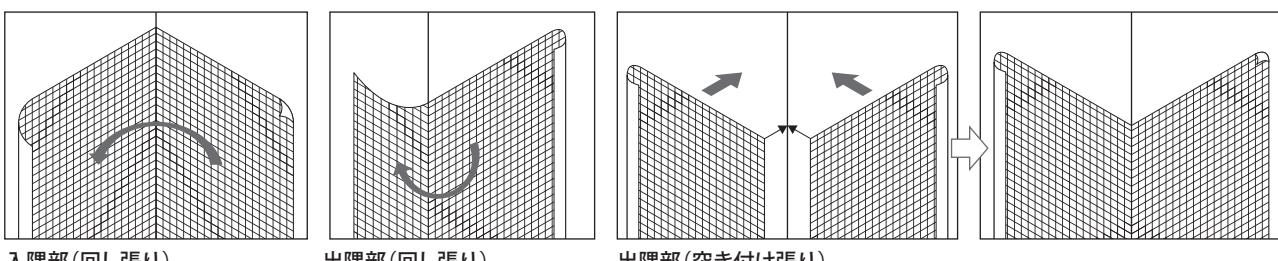
※SKカチオンプラスター弾性タイプは乾くのが早いため、大きな面積を一度で施工することは困難です。事前に一回で張れる大きさにグラスファイバーネットを切断しておき、ネットを張る面積分ごとにカチオンプラスターを塗りながら施工してください。

#### ■軽量セメントモルタルの場合

- 塗厚5~10mm程度で仕上げてください。
- 軽量セメントモルタル25kgあたり、ハイモルエマルジョン[ペタルスEV-300]（株式会社レゾナック建材）を1kg混入してください。または、モルタル接着増強剤を混入工法で使用し、各メーカー指定の量にて混入してください。
- 予定塗厚程度のモルタルを下塗りした後、グラスファイバーネットを壁面に圧着し、最後に上塗りのモルタルを薄く塗りこみ表面を仕上げてください。（グラスファイバーネットがモルタル表層側に伏せこまれるようにして下さい。）
- 当社汎用プライマーの上に、各軽量セメントメーカーのシーラー・吸水調整材を塗布することは避けてください。
- そのほか基本的な手順等は、上記（SKカチオンプラスター弾性タイプの場合）と同様です。

#### ■角部の施工

- 入隅部のグラスファイバーネットは回し張りしてください。
- 出隅部のグラスファイバーネットは回し張りしてください。難しい場合は突き付け張りをしてください。  
突き付け張りの場合、コーナー部のネット同士を十分に近づけ、突き合わせてください。
- 回し張りの継ぎ目の重ね代は50mm以上とてください。（上記参照）



※下地調整材は、ママコ等残らぬよう、しっかりと練り上げてください。

練り上げが足りない場合、本来の性能を発揮できないことがあります。

※下地調整材の上に、重量タイル等の貼り付けは避けてください。

※上記「下地調整材」は当社で性能を確認しています。必ず上記をお使いください。

※下地調整材は膜厚（カチオン2mm、軽量モルタル5~10mm）を確保し、平滑に仕上げてください。

## 5.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ・〉

### 4.仕上げ塗材の施工

- 仕上げ塗材を施工してください。  
仕上げ塗材は下記の水性塗材を使用してください。  
[水性塗材]四国化成建材社 パレットHG・パレットクリームHG／  
アイカ工業社 ジョリパットアルファ(JP-100)
- 下地調整材に軽量セメントモルタルを用いる場合、仕上げ塗材の前に各塗材メーカー指定のシーラー処理をしてください。
- 塗材が濃色の場合は季節を問わず、直射日光が当たると塗材表面が高温になり蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避ける等、高温にならないための養生を施して塗装を行ってください。
- 上記「仕上げ塗材」は当社で性能を確認しています。必ず上記をお使いください。

#### ご注意

仕上げ塗材は、各メーカーの施工要領を守って施工してください。

#### ご注意

ヒートガン・バーナー等による下地の強制乾燥は避けてください。

#### ■膜厚を確保できる仕上げパターン

##### パレットHG・パレットクリームHG

- ・ランダム仕上げ
- ・ウェーブ仕上げ (パラミックス配合)
- ・ウェーブL仕上げ (粗目)
- ・扇L仕上げ
- ・ラフ仕上げ (パラミックス配合)
- ・かき落としM仕上げ
- ・かき落としL仕上げ
- ・木镘押さえ仕上げ
- ・木镘仕上げ
- ・スパニッシュL仕上げ
- ・吹上スタッコ仕上げ
- ・吹上スタッコヘッドカット仕上げ
- ・吹上スタッコくし引き仕上げ

##### ジョリパットアルファ

- ・エンシェントブリック
- ・校倉
- ・ワイルドランダム
- ・ブロックダムR
- ・アールテスタ
- ・モアブーン
- ・小粒ロック
- ・ミーティア
- ・グラーデ
- ・ロック
- ・玉石エンシェントブリック
- ・スタッコ
- ・アンティークストーン

※仕上げ塗材の塗膜の収縮や膜厚不足(2mm以下)によって下地の影響(下地の凸凹がそのまま反映されたり、メッシュの網目が見える等)を受けることがありますので、仕上げ材の膜厚については2mm以上を確保してください。  
当社では膜厚の確保できる仕上げパターンを設定しております。

※指定仕上げパターンでの塗装においても、陽の当たり方等によって下地の影響が浮き出ることがあります。

※施工は必ず各塗材メーカーの指示・注意事項に従って行ってください。

※塗材や各パターンの施工方法・専用道具など詳細については各塗材メーカーにお問い合わせください。

## 6.現場貼り仕上げ手順〈現場貼付タイプ〉

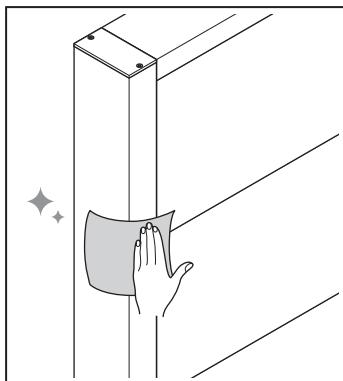
### 1.タイル・石材・外壁用シート材等の貼付け方法

- ①本体を組み立て後、当社指定の貼り物用接着剤を塗布してください。  
下地によくなじませるように塗りつけた後、くし目ごてを用いてしっかりとくし目を立ててください。貼り物を所定の時間内に張り付けてください。

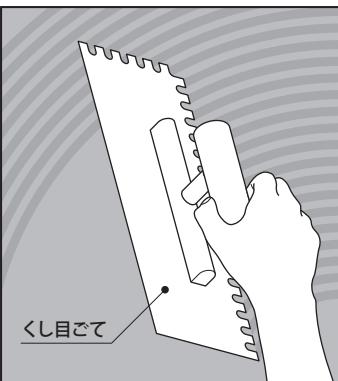
#### ご注意

- 接着は乾式接着剤張り工法です。接着剤の施工要領書を確認し、使用上の指示に従って、接着剤を塗布してください。
- 石材、タイル等を接着する場合は、接着剤は全面塗布してください。点付け塗布・団子張りは避けてください。
- 接着剤は必ず生地の状態に貼り付けてください。汎用プライマーや仕上げ塗材の上に貼り付けしないでください。

部材名	梱包名称
貼り物用接着剤	貼り物用接着剤セット
■接着剤の指定品	
商品名	会社名
タイルエースPRO	セメダイ
EY-21	ニッタイ



- 接着剤は、表面に付着しているゴミ・土砂・油分等を除去してから塗布してください。



- 接着剤の塗布  
くし目ごてでくし目を立ててください。  
貼付け物によりくし目の大きさを調整してください。(くし目3・5・7mm)

※高さにより貼付け物の重量に制限があります。  
端部柱同梱の本体取説記載の制限荷重に従い、貼り付け作業を行ってください。  
※石材・タイル・ボード類は、それぞれの商品の取扱説明書等もご確認ください。

取扱い店名